JAPAN TEACHERS' UNION ―教え子を再び戦場に送るな―

JTU ほっきゅう NO.22

2023. 8. 30 北九州市教職員組合にゅうす

「8・6」も「教研」同様、自己申告の研修履歴に記入することができるようになりました！！
～「8・6平和のつどい」開催される！その4～

まずは、「8・6平和のつどい」に参加した中学生の感想をお読みください。

○去年に引き続き「8・6平和のつどい」に参加させていただき（出演させていただき）ありがとうございました。去年は VTR での出演でしたが、今年は生で届けることができとても嬉しかったです。
特に、OPNINNG の詩は、映像とともに心に訴えかけてくるものがありました。インターネットの普及などにより、言葉ひとつひとつや、命そのものの重みへ理解というものが薄まってきつつあるのではないか。本当にこのままで良いのか。そんな問いかけを強く感じました。また、この「つどい」をとおして、戦争というものがいかにたくさんの命を奪ったかを改めて実感しました。当時の悲惨さを知る方々も減りつつあり、ウクライナとロシアの戦争を筆頭に未だ世界各地で戦争が行われている。そして、日本も戦争をする国になるかもしれないという状況の中、私たちにできることは、歴史・戦争の悲惨さを語り継いでいくことだと思います。最後に「ヒロシマの有る国で」を歌ったとき、客席に涙を流している方を見かけました。その時、もっとこの想いを大きく発信していかなければならないなと強く思いました。「つどい」に参加していた人が少なかったので、もっとたくさんの方に参加していただけるようなればよいなと思いました。そして、私はコーラス部の一人として参加（出演）させていただき、これからも歌・合唱という面から平和や命の尊さを伝えていきたいと思いました。今日の「8・6平和のつどい」で感じたことや学んだことを忘れずに、私にできることひとつひとつやっていこうと思います。　（10 代の参加者からのメッセージ）

中学生のこの感想を読んで、どのようにお感じになりましたか？
この中学生は「8・6」（や学校での平和学習）を通して、戦争の悲惨さを学び、今の日本の「戦争や平和との向き合い方」に不安を抱いているようです。そして、「歌の力」を使って平和や命の尊さを自分なりの方法で伝えていこうと決意しています。

先日、「8・6平和のつどい」総括会を行いました。この中学生が感想にも書いているように参加者、特に**「組合員の参加者が少なすぎる！」**ということが大きな課題として議題に上がりました。「教研集会」と「8・6 平和のつどい」は、教育委員会が創れない、組合の誇りうる「活動」ではないでしょうか！「7・29 全員集会」でも確認したように私たちの先輩たちが創り続けてきたこの「平和のつどい」をもう一度皆さんの心の中に誇りをもって内面化してほしいのです。今年から「8・6平和のつどい」も**教研同様、研修履歴**に記入できることになりました。皆さんの心にある「反戦・平和」の思いは行動に移してこそ「輝く」のです！平和憲法が危機にある今こそ、全組合員で「8・6」を若者と一緒に創っていきましょう。ただ、参加してくれるだけでいいのです。来年の8月6日（火）18時、「ウェルとばた大ホール」でお会いできることを楽しみにしています！

２期教研（第１回教職員セミナー）の案内

全体会　埼玉超勤訴訟を起こした「田中まさお」さんと一緒に考える私たち教職員の働き方

日時　2023 年 9 月 16 日（土）13：30～16：20　　**会場**　小倉リーセントホテル

わからないこと・困ったことがあったら…　何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合　〒802－0072　小倉北区東篠崎３丁目4－1
E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp　北九州教育会館　TEL（093）953－0381